

工業会活動

令和6年航空機生産額は 前年比3,143億円の増額

経済産業省が2月17日に公表した生産動態統計（確報年計値）に基づき、令和6年の航空機生産額（暦年値）を集計した。その結果、総額は前年比3,143億円（19.7%）増の1兆9,061億円となり、これまでの最高額となった。次ページのグラフが示すように平成25年から急増した生産額は、令和元年に1兆8,569億円となった後、令和2～3年はコロナ禍で大きく下落したが、令和4年からのV字回復が継続していることが確認された。防需と民需の内訳は、防衛向けが前年比786億円増の5,374億円、民間向けが2,356億円増の1兆3,687億円となり、その比率も28%対72%と民需の勢いを示す結果となっている。

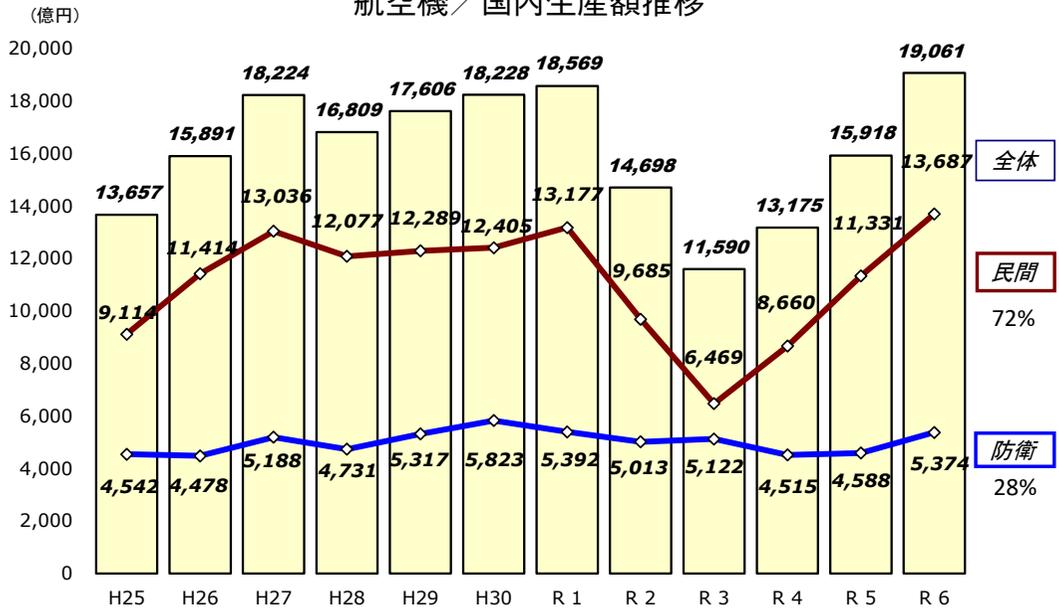
品目別にみると、機体の生産額は、機体本体が58億円増の1,369億円、機体部品が593億円増の5,976億円となり、機体全体ではボーイング向け機体の生産回復が遅れているものの、前年より650億円（9.7%）増の7,345億円となった。エンジンの生産額は、エンジン本体が221億円減の729億円となったが、エンジン部品が海外向け部品の増等により昨年実績を2,438億円上回る9,438億円となり、エンジン全体では前年より2,217億円（27.9%）増の1兆167億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額も防衛向けを中心に前年より275億円（21.7%）増の1,549億円となった。

今後については、防衛向けでは防衛力整備計画（令和5年～9年）の折り返しの年を迎えるが、当面は固定翼機や回転翼機等の調達継続に伴う安定的生産や次期戦闘機の開発推進

が期待される。民間向けでは、航空旅客需要が回復から拡大基調にある中、ボーイングの品質問題をはじめとする機体の生産・納入計画への影響は、日本企業にとっても早期の回復が望まれる一方、エンジン関連は部品販売を中心に増加傾向が見込まれる。

こうした状況下、世界を取り巻く安全保障やサプライチェーン、環境対応などの様々な課題には注意を払う必要があるものの、令和7年以降の航空機生産の動向は引き続き堅調に推移するものと想定される。

航空機／国内生産額推移



令和5年と令和6年の区分別比較

(単位:億円)

区分	R5年 確定値(R6.5月)			R6年 確報年計値(R7.2月)			差 (R6年-R5年)				
	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計		
製造	機体	本体	X	X	533	X	X	405	X	X	△128
		部品	1,104	3,516	4,620	1,338	3,823	5,161	235	307	541
		小計	X	X	5,153	X	X	5,566	X	X	413
	エンジン	本体	X	X	112	X	X	151	X	X	38
		部品	446	6,504	6,950	539	8,845	9,385	93	2,341	2,434
		小計	X	X	7,063	X	X	9,535	X	X	2,473
	その他機器	777	320	1,096	1,029	305	1,334	253	△15	238	
合計	2,893	10,419	13,312	3,419	13,016	16,435	526	2,597	3,123		
修理	機体	本体	649	129	778	790	174	964	142	45	186
		部品	645	119	764	676	139	815	31	21	51
		小計	1,294	248	1,541	1,466	313	1,779	173	65	238
	エンジン	本体	202	636	838	257	321	578	55	△315	△259
		部品	42	8	50	44	10	54	2	2	3
		小計	244	644	888	301	331	632	57	△313	△256
	その他機器	157	20	177	187	27	214	30	7	37	
合計	1,694	912	2,607	1,955	671	2,626	260	△241	19		
全体	機体	本体	X	X	1,311	X	X	1,369	X	X	58
		部品	1,749	3,635	5,384	2,014	3,962	5,976	265	327	593
		小計	X	X	6,694	X	X	7,345	X	X	650
	エンジン	本体	X	X	950	X	X	729	X	X	△221
		部品	488	6,512	7,001	583	8,855	9,438	95	2,343	2,438
		小計	X	X	7,951	X	X	10,167	X	X	2,217
	その他機器	933	340	1,273	1,216	332	1,549	283	△8	275	
	合計	4,588	11,331	15,918	5,374	13,687	19,061	786	2,356	3,143	
		(29%)	(71%)	(100%)	(28%)	(72%)	(100%)				

(注) 四捨五入の関係から、合計、小計は必ずしも一致しない

X: 経産省生産動態統計の令和2年1月以降の一部データは内訳数値が公表されていない

(出典: 経済産業省生産動態統計)

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 業務部部长 川原 亘弘〕